

テーマ

『この町で生まれ、出会い、語り合う喜びと感謝』を込めて

目標

地域で活動するいろいろな人と出会うことで、地域のことを知り、その願いと意思を受け継ぐ

今年度の取組紹介

①今年度活動の大きな柱は「防災」でした。各運営委員会で校区の実情に応じた取組がすすめられ防災・減災意識を高めることができました。右京小学校では「防災図上訓練・地域防災訓練」、神功小学校では「親子防災体験プログラム」、平城西中学校では「防災セミナー」が消防署の協力のもと多数の児童・生徒・地域の方の参加で行われました。



【平城西中学校】



【右京小学校】



【神功小学校】

②地域ボランティア活動は例年通り環境整備・図書室整備などで定期的に熱心に活動が行われました。特に、図書ボランティアにおいては北部図書館の協力を得て「図書ボランティア研修会」を開催し、ボランティア開拓の取組をすすめています。また、今年は、6月にボランティア交流会を開き登録数の約半数が参加し、自己紹介や参加動機などを語り合う一時を過ごすことができました。

今年度のまとめ

①防災の取組を地域とともにやり、児童・生徒は様々なプログラムを体験しました。このことが地域の連帯感を高め、災害時における的確に行動できる素養となりました。また、特に中学生には地域防災における中心的な立場で行動する自覚「助けられる側から助ける側へ」を促すことができました。

②各種ボランティア活動は年々定着してきており、各学校園において根付いてきています。地域一斉清掃にも多数の生徒・地域の方が参加し学校周辺の落ち葉清掃が行われています。こうした活動に対して児童・生徒からは自然と感謝の声が上がってきています。また、この気持ちより積極的にボランティア活動に参加しようとする児童・生徒が増えてきています。

来年度に向けて

地域防災の取組として小中学生がともに参加できる講習会を実施し、その中でジュニア防災検定を行い、各学年に応じた防災学習を進め、地域防災士の取得を目指します。また、ボランティアの交流をすすめるとともに新たなボランティアの人員・分野の開発を目指します。

テーマ

地域に根を張り結実する

目標

人と人の絆の中で互いの人間形成とともに学校・地域・郷土の発展を目指す

今年度の取組紹介

今年度テーマに基づく取組内容として①地域の子どもたちのリーダーとしての活動②地域の安全に貢献する活動③地域から学び受け継ぐ取組をポイントとして活動をすすめました。

1, 防災セミナー

夏休み、消防署の協力を得て防災セミナーに取り組みました。生徒約100名、地域の方・ボランティア約30名の参加の下、防災講演（飛鳥中学校生徒会）・防災クイズ・防災体験（AED、三角巾、簡易担架、水消火器などの体験）・防災食体験などに熱心に取り組みました。

2, 地域一斉清掃

12月7日（土）中学校周辺の一斉清掃を地域の方とともに取り組みました。生徒会を中心とし生徒約100名、地域の方（自治会、少年スポーツ団体など）約100名と一緒に中学校・神功小学校・神功幼稚園周辺の落ち葉清掃・溝掃除に汗を流しました。



今年度のまとめ

地域ボランティア活動による環境整備活動・図書室支援活動により本校は多大な支援をいただいています。生徒は地域の方とのふれあいにより活動意欲を高めています。今年初めての取組であった「防災セミナー」は地域の方も多数参加いただき、貴重な体験を得ることにより防災への意識が高まったと感じています。また、一斉清掃では地域の方とともに取り組むことにより連帯感が生まれ、地域貢献への意識が芽生えてきています。

来年度に向けて

地域における中学生の存在がクローズアップされてきています。防災や清掃に地域の方とともに取り組むことにより地域への愛着が生まれ、地域発展の主体者であるとの意識が生まれてきています。この意識を具体的なものに定着させるために取組をすすめる必要があると思います。

テーマ

学校が好き、地域が好き、右京はみんな一つ

目標

地域への意識を高め、地域活動に積極的に参加する児童を育てる今年度の取組紹介

○右京地区防災訓練（10月27日）

晴天の中、右京地区防災訓練が実施されました。1ヶ月前から6年生が防災訓練ポスターを描き、掲示でアピールして当日を迎えました。消防訓練や炊き出し、救急法等、地域住民や児童、小学校職員も多数参加して体験し、防災意識を高めました。防災会議も小学校で開き、地域の実態が把握できました。



○北部会館地域交流会（1月18日）

今年で3回目を迎える「北部会館地域交流会」は、多くの保護者や地域の方々が来場し、盛会のうちに終わりました。かわいい幼稚園児の歌、小学生のはつらっダンス、一条高校のダンスや平城高校のコーラス、地域のギター演奏、右京おはなしの会紙芝居、伝統芸能尾山万歳、奈教大アंकロンの公演を楽しんでいただき、地域との交流がいっそう深まりました。



<来場者感想より>

- ・右京小の元気なダンスやアंकロン演奏がよかったです。私も元気がでました。ありがとうございました。
- ・子どもたちが頑張っている姿に感動しました。いつも地域の方々、先生方、子どもへのご指導いただき、また、あたたかく見守っていただきありがとうございます。
- ・午前の部も午後の部もとってもよかったです。こんな会がずっと続けられたらいいですね。

今年度のまとめ

- プール学習と水泳教室に2年連続外部機関から講師を招聘したことは、児童の泳力向上に成果がありました。泳げることに自信をもち、意欲的に授業を受ける児童が増えました。
- 地域の防災訓練実施にあたり、児童がポスターを描く、当日に体験するなど、地域の一員であることの意識を高めることに効果はありました。防災会議では、地域の実態を理解し、知識も広がりました。
- 北部会館地域交流会は、多くの応援感想をいただき、年々、地域と保護者、児童等のきずなを深める取組になってきました。うれしいことです。
- 環境ボランティアさんの活動や万青さんの学習支援、右京おはなしの会の活動は学校力を高める大きな一助となっています。

来年度に向けて

- 今年度のテーマ・目標・事業を継承していきます。
- 校区全体の統一した防災学習を実施し、小中一貫教育地域の一員としての意識を高めていきます。

テーマ

地域と共に心を耕し、夢を育む神功っ子

目標

“自分がすき、友だちがすき、この町がすき”といえる神功っ子を地域と学校が連携協力して育てていく。

今年度の取組紹介

◆親子防災体験プログラムから全校防災学習へ

今日、防災に関する意識の向上と具体的な対策は、学校だけでなく地域においても喫緊の課題になっています。今年度は、本校の事業の中心に防災学習をすえ、学校と地域・保護者が一体となり取組を進めてきました。はじめに地域と学校の課題を出し合い、防災意識の向上を目標にすえました。

夏休みには、宿泊を伴う親子防災体験プログラムを実施しました。消防署や市をはじめ、消防団、地域の方々、地域の中学生や高校生にも参加・協力していただき、次のような多数のブースを設けました。

「消火体験」「放水体験」「非常食体験」「安全スリッパ作り」「起震車体験」「救急法体験」「缶切体験」「防災グッズ展示コーナー」等、おとなも子どもも興味をもって、意欲的に体験しました。また、体験だけではなく、被災時の対策について講話をいただいたり、親子・地域の方が一緒になって災害対策についてグループセッションをしたり、教職員が中心となってレクリエーションをしたり、おとなと子どもそれぞれが学びについてのまとめと発表をしたりといった活動も行いました。これらの取組の中で、参加者の防災意識が高まり、学校においても地域の声を聞く機会になり、災害時を具体的に想定した対策を考えるきっかけとなりました。

3学期の1月17日には、親子防災体験プログラムに参加した児童を中心に全校での防災学習を実施しました。この際には、上記の取組から見えてきた課題でもあった保護者への防災意識の向上を図るため、オリジナルクリアファイルを製作し、それを活用した防災学習を家庭へと広げていくことができました。



非常食体験



グループセッション

今年度のまとめ

保護者・子どもの防災意識は高まり、非常用の食料や物品対策だけではなく災害時の地域を中心とした人のつながりの大切さや地域の力を感じる機会となりました。そして、学校・地域・保護者で地域防災の今後の担い手として子どもたちの地域への意識を高めていくことが大切だと共通理解できました。

来年度に向けて

防災・減災の取組を今後も事業として継続していく中で、更に防災意識を高め、地域・学校での共助の大切さを伝えていきたいと思えます。

子どもたちの地域への意識を高めるために、環境整備事業や図書環境整備事業、読み聞かせ、地域美化活動などにかかわるボランティアの増員と子どもたちの活動への参加を更に進めていきます。

テーマ

一緒に遊ぼう！きらきら輝く右京っ子

目標

地域と連携しながら幼稚園教育の活性化および充実を図る。

今年度の取組紹介

○ わらべうた遊び

音声館の方を講師に招聘して、「わらべうた教室」を年3回実施しました。毎回地域の万年青年クラブの方に参加を呼びかけ一緒に楽しんで頂きました。「わらべうた」の保育参観を実施して保護者の方々にも楽しんでもらう機会をつくりました。また、奈良町や音声館方面に地域の方と出かけ音声館でわらべうた遊びを、からくりおもちゃ館ではめずらしいおもちゃで遊ぶなど楽しい時間を過ごしました。



○ 柔道教室（年6回実施）

地域の方にゲストティーチャーとしてきていただき、柔道を教えていただいた。幼児は楽しく参加し、色々な技や礼儀を身につけることが出来ました。

○ 3B体操（土曜参観）

親子で身体を動かして遊ぶ楽しさを味わっていただければと小学校の体育館をお借りして3B体操を休日の参観に行きました。保護者や兄弟姉妹などたくさんの参加があり、会場中歓声があふれていました。



今年度のまとめ

お話し会、柔道教室、しめ縄作りなどに地域の方をゲストティーチャーとしてむかえたり、わらべうた教室を地域の方と一緒に楽しんだりする取組を推進したことは、幼児が地域の方々とふれ合う場になり、保育の活性化につながりました。また、北部会館での地域交流会への参加は幼児たちにとって貴重な体験の機会になり、地域の方に幼稚園を知っていただける場にもなりました。

参加された方からは「幼児と一緒に行動することはとっても楽しく、パワーをもらえた。」「子どもの育ちや幼稚園の取組（地域で決める学校予算事業）がよくわかる。」という声がありました。また、保護者の方からは「地域ボランティアの方々も加わり、園生活を充実させて頂いているのでありがたい。」という声が聞かれました。親子運動遊びは身体を動かす楽しさの啓発になったと思います。

来年度に向けて

園庭に遊具がほとんどない実情や保護者の願いもふまえ、次年度は体力作りの取組と、様々な人とのふれ合いや豊かな体験を通してコミュニケーション力の育成をめざした取組を地域の支援を頂き、小学校との連携を密にして推進していきたいと思ひます。

テーマ

ふれあい・つなごう・えがおの輪

目標

身近な環境や様々なひと・もの・こととのかかわり、体験を通して感動を共有できるような場の構成や環境づくりを幼稚園・地域が協働し推進する。

今年度の取組紹介

- ◆ 昨年より子どもたちの運動能力の低下を課題と考え、講師を招聘して在園児保護者や未就園児親子を対象にふれあい運動遊びを行いました。ファミリー参観ではたくさんの保護者や地域の方の参加があり楽しく体を動かして感動を共有できました。また、子どもたちが意欲的に体を動かす楽しさを味わえるように運動遊具を購入するなど保育環境の整備をし、体力作りの推進に取り組みました。
- ◆ 保幼小連携の推進に数年来取り組んでいますが、今年は、神功の未来の町づくりをテーマに交流活動を行いました。交流する中で子どもたちは保育園児や1年生と一緒に活動する楽しさを味わい、職員は子どもたちの学びを共有することができました。神功小アート展で共同作品を保護者や地域の方々に見ていただきました。また小学校を中心に活動している「HN理科実験研究会」の科学遊びや「おはなしくれよん」による継続的な“お話広場”が15回実施されるなど、地域の協力が得られ、感動を共有できました。



今年度のまとめ

園環境の整備（園庭の菜園や花壇、虫の広場、図書）は、園児が減少する中で、ボランティアの協力を得ながら、園、子ども、保護者がみんなで行き届いた基盤ができてきました。隣接している保幼小と継続的に連携し学びを共有する取り組みを重ねてきました。その中で、神功アート展を鑑賞した保護者は、「異年齢で共同制作した未来の町は、とてもダイナミックで、色々な材料を工夫して使っていると感じました。」「保幼小の交流はとても良い事だと思います。普段一緒に過ごしていない友達との交流はとても刺激になったと思います。」等と感想を頂きました。また、お話広場や理科実験等、地域の教育力を活かした活動は、子どもたちの興味、関心を引き出し豊かな学びにつながりました。講師を招聘してふれあい運動遊びを行ったり、運動遊具を購入し子どもたちが意欲的に活動できる環境を構成したりして体力づくりの推進に取り組みました。参観などで地域の方や保護者に「マットや平均台、鉄棒等、雨でも屋内でできる運動は、体力づくりにもなるし、生き生きと活動できて良いですね」と感想を頂きました。その他、ふれあいコンサート、ふれあいお話会等ふれあいの輪を広げています。

来年度に向けて

園環境の整備を継続（菜園、花壇、虫、土作り、図書）していくなかで、地域ボランティアの協力を得、地域の幼稚園として位置づけられるように働きかけていきます。体験活動の充実（講師招聘を含む）、ふれあい活動、運動遊びを充実していきたいと思っています。保幼小連携の取り組みを継続、充実させていくなかで、“学びフェスタ2014”に幼稚園として小学校と協働していきたいと考えています。